

TP-Bridge

太平洋を《架橋》するブリッジ・パーソン養成プログラム
(文部科学省 大学の世界展開力強化事業 ～米国等との大学間交流形成支援～)



TP-Bridgeとは

What is TP-Bridge



「太平洋を「架橋」するブリッジ・パーソン養成プログラム」、通称「TP-Bridge」は、米国、フィリピン、韓国の計11の協定校とともに、オンライン、オンキャンパス、オンサイトの3つのプログラムを通して交流するプログラムです。

3つプログラムを通じて、国籍・言語・文化の違いを障壁とはとらえず、むしろ多様性にみちた環境において新たな着想を得て、そこにサステナビリティへの理解を組み込んだうえで、価値観や思考様式の異なる人々とも共有し合える調整能力を身につけたブリッジ・パーソンの養成を目指します。

背景と目的

今日のアジア太平洋では、安全保障上の不確実性や著大な貧富の格差など、持続可能な地域の未来を創造するにあたって、国家間でも一国内でも多くの障壁があります。この困難な状況から脱却するには、個々の学術的・実務的分野で専門的な知見を創出・蓄積していくにとどまらず、多様な主体と問題が複雑に絡み合った現実を総合的にとらえ、かつ、現状にとらわれない柔軟な発想をもち、それによって諸分野の知見をつなぐ調整能力を身につけた人材が求められます。本プログラムでは、専攻分野と文化的背景を異にする日本・米国・フィリピン・韓国の学生が、アジア太平洋の現状について学んだうえで、GX・DX分野をも組み込んだ学際的な教育プログラムのなかで多様なアイデアと知見を取り込み、言語・文化・専攻分野の違いを「架橋」して問題解決を導く創造的な調整能力を育みます。



プログラム概要

米国及びフィリピンの海外相手大学から本学に実留学する学部生と、それらの大学に本学から実留学する学部生を主な対象として、

- ① オンライン・プログラム
- ② オンキャンパス・プログラム
- ③ オンサイト・プログラム

の3部から成る教育プログラムを提供します。

3つの「架橋」

グローバル化が進み、先行きの不透明性が増す時代。どのような職に就き、どのような舞台で活躍するにせよ、確実な言語運用能力を備え、みずからの構想力をも発揮し、文化と思考を異にする多様な人々の間に協働を創出する調整能力こそ、リーダーシップの条件となります。本プログラムの成果として地理・学術・時間の3面で「架橋」する能力を養成します。

- 地理的架橋：空間的・言語的・文化的な距離を克服するITリテラシー、言語運用能力、多文化的感性
- 学術的架橋：専攻分野以外の知識・知見を思考に取り込める文理横断型の幅広い視野と関心
- 時間的架橋：過去と現在を踏まえつつ、それに縛られずに持続可能な未来を想像/創造する構想力

オンライン・プログラム

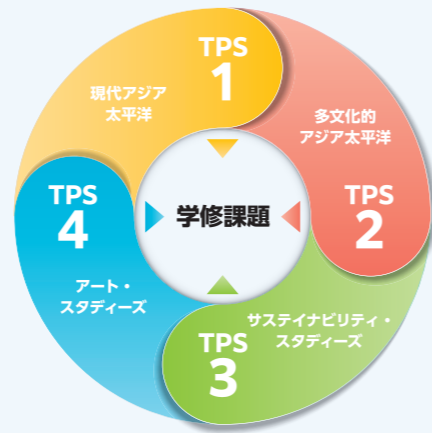
オンラインを通じて、オンキャンパス・プログラムの準備教育としても位置づけられるさまざまなプログラムやキックオフ・ワークショップと、本学と海外相手大学の授業をオンラインで接続するCOIL型教育(Collaborative Online International Learning)等を行います。

渡日を控えた留学生には、自主的に準備を進めるため、日本語や日本文化・社会に関する教材を作成し、JV-Campus (Japan Virtual Campus) 等を通じた利用を可能にします。また、実留学への心理的な不安を解消するため、渡日前の留学生が同期・非同期型のオンライン・ツールを通じて本学の学生と連絡を取り合い、渡航の準備を進められるような仕組みを開発します。

Online Program

オンキャンパス・プログラム

本学で開講される4領域のTPS (Trans-Pacific Studies) 科目を通じて、異なる専攻分野の知見を総合・融合して新たな着想を導き出せる能力の養成を目指します。



各科目は、海外相手大学においても単位が認定される本学の正規科目として、米国及びフィリピンの学生が本学に在籍する期間(春学期、4月~7月中旬)に開講されます。日本・米国・フィリピンの学生が、(TPS1)~(TPS4)の全4領域について、少なくとも各1科目を履修します。

On-Campus Program

オンサイト・プログラム

● SDGsに関連した海外映像作品の字幕翻訳インターンシップ

4月から7月の間に、SDGsに関連した海外映像作品の字幕翻訳に取り組むインターンシップを実施します。互いの言語力を補完し合いつつ、各自の専攻で学んだ知見を持ち寄り、それらを持続可能な未来の構想という共通の主題に向けて接合させます。

● ソウル大学日本研究所研修

7月末に、ソウル大学日本研究所の協力を受け、韓国・ソウルで海外研修を実施します。冷戦に起源をもつ国家・民族の分断が今日まで続く現場の実地見学は、過去と現在をつなぐ視野の開拓に寄与します。学生たちは、冷戦的分断の最前線を見学したうえで、ソウル大学日本研究所にて専門研究者による関連の講習を受けます。その後、学修成果報告会にて、プログラム全体を通じて得た各自の学びを発表し合います。海外研修中に実施される見学・講習・報告会には、ソウル大学全体から集められた日本研究所の「ジュニア・フェロー」も参加し、学際的・国際的に多様な視点が交差する学術的対話が行われます。

On-Site Program

モデルコース

	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
日本人学生					短期派遣		TPS 科目受講(TUFS)			韓国研修	短期派遣		
			オンライン・プログラム				インターンシップ				長期派遣(3ヶ月~1年)		
米国・フィリピン人学生							TPS 科目受講(TUFS)			韓国研修			
			オンライン・プログラム				インターンシップ						



3部構成のプログラムで、3つの隔たりを《架橋》するブリッジ・パーソンの養成を目指します。

3つのプログラム

オンライン・プログラム

COIL型教育やオンライン教材の活用により、交流とオンキャンパス・プログラムの事前学習を行います。

オンキャンパス・プログラム

4領域の Trans-Pacific Studies (TPS1: 現代アジア太平洋、TPS2: 多文化的アジア太平洋、TPS3: サステナビリティ・スタディーズ、TPS4: アート・スタディーズ) を横断して学びます。

オンサイト・プログラム

オンラインも活用した企業インターンシップや、ソウル大学日本研究所ジュニア・フェローも参加する韓国研修・学修成果報告会を通じ、相互の言語運用能力の補完と問題意識・アイデアの共有を目指します。

3つの《架橋》能力

地理的架橋

空間的・言語的・文化的な距離を克服するITリテラシー言語運用能力、多文化的感覚

学術的架橋

専攻分野以外の知識・知見を思考に取り込める文理横断型の幅広い視野と関心

時間的架橋

過去と現在を踏まえつつ、それに縛られずに持続可能な未来を想像／創造する構想力

パートナー大学

■米国

サンディエゴ州立大学、カリフォルニア州立大学ノースリッジ校、サンフランシスコ州立大学、ハワイ大学マノア校、ネブラスカ大学カーニー校、カリフォルニア大学リバーサイド校、カリフォルニア大学アーバイン校

■フィリピン

フィリピン国立大学、アテネオ・デ・マニラ大学、デラサール大学

■韓国：ソウル大学

協力大学

■日本：電気通信大学



【問い合わせ先】

国立大学法人東京外国語大学

総務企画部国際化拠点室（アゴラグローバル 2F）TP-BRIDGE 事務局

E-mail: tenkai-bridge-coordinator@tufs.ac.jp

ウェブサイト: <https://www.tufs.ac.jp/tp-bridge/>

※プログラムの詳細、最新情報は、ウェブサイトをご確認ください。



東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies

